



福中だより

☆☆☆教育目標☆☆☆

希望 創造 潤い

昭島市立福島中学校

令和7年9月1日 NO.5

042-541-2940

創立46年目(昭和55年開校)

学びの力



校長 前川 法彦

44日間の夏休みが終わり、2学期がスタートしました。皆さんの元気な声を聞くことができとても嬉しいです。また、気持ちを切り替え、自分の目標に向かって充実した学校生活を送ってほしいと思います。

さて、夏休みにいろいろなことを学び、知識として残っていると思います。皆さんは知識と聞いて、どのようなことを思い浮かべるでしょうか。

知識は、教えられて覚えるものではなく、自分でつくるものだという考え方があります。最近、「主体的な学び」という言葉がよく聞かれますが、知識は教えてもらい、テストでよい点を取るように思ってしまいがちです。10年ほど前に、先進国と呼ばれる国々と比較して、卒業後に自分から学ぶことを1番しない国は、日本であるというデータがありました。つまり、知識がアップデートされないことを示しています。

今の社会は、相対的に学力を測ろうとすることが多いですが学力が高いからといって、自分で切り拓いていく学びの力があるとは限らないそうです。様々な分野で活躍している人たちは、「今までできなかったことができるようになること」に喜びを感じ、目標に向かって自分が少しでも成長することが、お金を稼ぐことより大切だと話しています。知らなかったことを知ること、自分自身が変わっていく楽しさは、前に進む原動力になっているそうです。実は、疑問が出てきたとき、まずは調べることを通して、学び方を覚えて、自分から学んでいく力が付いていくのです。そのように獲得した力は、生きた知識となり、しだいに応用力も高くなってきます。

私たちは、日常の様々なことを理解するとき、もっている知識をつないで、自分の経験と結び付けていきます。生きた知識が作られるとき、間違えることもありますが悪いくことはありません。使ううちに気付き修正していけばいいからです。生きていくうえで、修正する力はとても大切で、間違わなければ修正する力も身に付きません。失敗から学び克服できたとき、大きく成長して、他からも認められることにつながるはずです。もし、はりきって始めたのに続かないときは、目標を見直すのもひとつの方法です。今、何ができて何がうまくいっていないのかを振り返って、目標を決めて学びを続けてほしいと思います。